

1 単元について

対 象 学 年	中学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	書くことの言語活動(工)
単 元 名	Unit 3 Children of the World (全7時間) NEW HORIZON English Course 3
単 元 目 標	<p>バングラデシュの体験についての由美の日記や手紙を読み、その内容に対する感想や返事を積極的に書き伝えようとする。</p> <p>(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)</p> <p>スタディーツアーやバングラデシュに対する思いや考えが読み手に正しく伝わるように内容や表現を工夫して書くことができる。(表現の能力)</p> <p>由美の日記やジョスナへの手紙を読み、その概要や要点を正しく読み取ることができる。(理解の能力)</p> <p>現在完了形の経験・完了が表す内容を正しく理解するとともに、現在形や過去形との違いを理解している。(言語や文化についての知識・理解)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的内容の確実な定着の工夫について</p> <p>単元の指導過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の導入にあたり、終末の言語活動への見通しをもたせる。単元の終末で目指す表現活動の具体的なイメージをもたせることにより、毎時間の言語活動を通して表現や内容を積み上げることが大切であることを理解させる。 自己表現のための表現や内容を、教科書英文の内容に対する自分の考えを書く活動を通して積み上げる。教科書の話題に関して、他の生徒と交流しながら、書く内容の幅を広げたり、手紙に対する返事を書くために必要な表現や内容を身に付けたりすることができるようにする。 <p>単位時間の指導過程の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 本単元で新しく学習する言語材料は現在完了形である。帯活動として現在完了形を用いた対話活動を位置付けることでその習熟と運用力の定着を図る。具体的には、'Have you been to ~?' 'What have you done as a housework?' という教科書の内容にかかわる質問をして、それに答えるという対話活動を授業の導入過程で位置付ける。 バングラデシュの現状を具体的に知る手がかりとなる資料を単元導入時に読むことによって、表現内容にかかわって意欲を高め、自分の思いを書く活動へとつながるようにする。 <p>言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現内容を重視し、他の生徒の文章とは異なる表現や内容で英文を書くことのおもしろさや楽しさを体感させることで、自分が書いた英文を生徒同士交流する意欲を高める。そのために、バングラデシュに関する資料や情報を導入時のみならず単元を通して与え、表現内容に着目する視点が多様になるようにする。 「誰に読んでもらうものか」等、書く目的を明確にし、読み手の立場を十分に想定した上で書く活動を行う。 <p>評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎時間のワークシートの記述から、生徒の表現のよさや変容したことを

	<p>価値付けるとともに，補助簿に記入していくことでよりの確な指導・援助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元終末の活動においては，教科書とは違う手紙を読んだ後に，手紙に対する返事を書く問題でテストを行う。単元で身に付けた一人一人の書く力を分析し評価するとともに，一人一人に所見を加え以後の学習に生かすようにする。
参 考 資 料	<p>資料1：単元の評価問題 資料2：単元で使用するワークシート ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ：第1時に使用 バックグラウンド・ストーリーについて ：第2時に使用 参加を決めた由美の日記 ：第3時に使用 農村での体験をした由美の日記 ：第4時に使用 ジョットの学校訪問をした由美の日記 ：第5時に使用 ジョットへの手紙 ：第6時に使用 紹介したいストーリー ：第1時に使用（リスニングとして使用可）

2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化につ いての知識・理解
書 く評 こ価 と規 の準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的に取り組んでいる。 ・様々な工夫をすることで，コミュニケーションを続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語を用いて，自分の考えや気持ちを正しく書くことができる。 ・初歩的な英語を用いて，相手に言いたいことが伝わるように書くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・言語や言語の運用についての基本的な知識を身につけている。
読 む評 こ価 と規 の準			<ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な英語で書かれた情報を正しく読み取ることができる。 ・初歩的な英語を目的に応じて適切に読むことができる。 	
単 元 の 評 価 規	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず，自分の思いや考えを書いている。 <p>(コミュニケーションの継続)</p>	<p>(正確な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に自分の考えが伝わるように正しい文法や単語の綴りを用いて書くことができる。 <p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書きたい内容を整 	<p>(正確な読み取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文の概要を正しく読み取ることができる。 <p>(適切な読み取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切な部分を落と 	<p>(言語についての知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験と完了の意味・形態・用法を理解している。 <p>(文化についての理解)</p>

準	・自分の考えや思いが相手に伝わるように、様々な工夫をしながら書いている。	理して、書くことができる。	さずに読み取ることができる。	・手紙を書くときの英語の特有の表現を理解している。
学習活動における具体の評価規準	間違いを恐れず、伝えたいことや手紙に対する返事を書いている。 自分の考えや思いが伝わるように、既習表現を用いたり、言い換えたりして、英文を書いている。	既習表現や現在完了形などの文を正しく用い、書こうとすることを相手に正しく伝えることができる。 相手に伝えたいことを整理し、伝えたいことについて理由や具体例を付けて書くことができる。	「いつ、どこで、誰が、何を、どのように、なぜ、等」の事実を正確に読み取ることができる。 他の生徒の文章を読み、書き手の思いを読み取ることができる。	現在完了形の経験と完了の意味・形態・用法を理解している。 手紙を書くときの英語の特有の表現や書式を理解している。

3 指導と評価の計画（全7時間）

時	ねらい	学習活動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	<p>バングラデシュの魅力やスタディツアーの意義について自分なりの考えをもつために、バングラデシュの現状についてその概要を読み取ることができる。</p>	<p>【導入】 帯活動 (現在完了を用いた対話) 「Study Tour to Bangladesh」のポスターを見ながら教師の口頭導入を聞く。</p> <p>【展開】 教科書 p26 の対話文を読み取り、話題や話題に対する由美の経験について読み取る。(ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>バングラデシュへのスタディツアーを紹介された由美は、様々な情報を集めた結果、参加を申し込むことになりました。 どんな点に魅力を感じたのか、由美のように情報を集めてみよう。</p> </div> <p>教科書 P26 を音読する。</p>					<p>ワークシートのチェック欄や空欄の記入状況を見ながら情報を正確に読み取っているかどうかを確認する。</p>	<p>・単元の終末において、一人一人が自分が紹介したい国へのスタディツアーのパンフレットづくりを行うことについて、イメージと見通しをもたせる。</p> <p>人口や首都は、教科書の p 2, 3 を参考にし、読み取ることができるように助言をする。その他の情報に関しては、主語</p>

		<p>ワークシート の英文を読み、その概要を読み取り、空欄を埋める。 ワークシート から得た情報やインターネットから得た資料から、Bangladesh の魅力やスタディツアーの意義を考える。</p> <p>【終末】 自分が得た情報から、由美の立場になって、スタディツアーに参加したい根拠となったBangladesh の情報や由美の気持ち等をまとめる。</p>					と動詞に着目して読み取ることを助言する。
2	<p>スタディツアーへの参加を決定した由美の思いについて、Bangladesh の国や人々とかかわらせながら6～8文程度の英文で書きまとめることができる。</p>	<p>【導入】 帯活動 (現在完了を用いた対話) 前時まとめた「由美の思い」について、ペアやグループで英語で述べ合う。</p> <p>【展開】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>由美の立場でスタディツアーに参加しよう決意した由美の思いを英語で書こう。</p> </div> <p>前時用いたワークシートや教科書英文を参考にして、ワークシート に英文を書きまとめる。</p> <p>【終末】 書いた英文を班の中で交流し、次の観点からそのよさを認め合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 由美の思いがよく伝わってくる 2 思いの根拠や理由が分かりやすい 3 表現や構成が読みやすい </div>				<p>前時学習した英文や資料を参考にして書く姿や、ワークシート に書き込んだ英文で確かめる。 前時に書きたいと整理した由美の思いとその思いの根拠や理由が、英語で表現されているかを机間指導で確かめる。</p>	<p>モデルの英文を生徒に示し、書き出しや構成の仕方、有効な英語表現を具体的に示す。</p> <p>伝えたい内容がうまく英語にできない生徒に対しては、近い表現で言い換えるよう助言する。</p>
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Example: I am going to Bangladesh this spring. I didn't know about street children. I really want to see them and do something for them. I looked at many pictures of the children in Bangladesh. Their smiles are very nice. I want to see them. I am looking forward to seeing them.</p> </div>					
3	<p>Bangladesh での由美</p>	<p>【導入】 帯活動</p>					

	<p>のホームステイの様子について、ジョスナと由美の対話からその概要を正しく読み取ることができる。</p>	<p>(現在完了を用いた対話)</p> <p>【展開】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>由美はどんなことを手伝っているのだろう。また、ジョスナは日頃どんな生活をしているのかを読み取ろう。</p> </div> <p>新出単語の意味を確認し、読み取った内容についてワークシートの問いに答える。</p> <p>【終末】</p> <p>読み取ったことを、由美の日記として書いてみる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Example: Today I came to Josna' s house. Josna is 10 years old. She works very hard. My first work was pumping water from a well. It was very hard work for me. Josna milked the cow very fast. She does it every day. I was very tired today, but it was a very nice experience for me. I enjoyed working with her.</p> </div>				<p>ワークシートに書かれている内容が正しいかどうかを、机間指導の中で確認する。</p> <p>ワークシートを集めて書かれた英文の文法や綴りの正しさを確認する。</p>	<p>「誰が」「何をした」をポイントに読み取ることができるよう教科書のせりふを言っている人物とそのせりふの中の動詞に着目するように助言をする。</p> <p>登場人物の行為について整理するとともに、教科書英文、特に動詞句に着目させ、用いて表現するように助言する。</p>
4	<p>由美が書いた記録を読み、バングラディッシュの学校事情の概要を正しく読み取ることができる。</p>	<p>【導入】</p> <p>帯活動</p> <p>(現在完了を用いた対話)</p> <p>由美の日記として書いた英文をペアやグループで交流し、代表の生徒の作品(二点)についてよさを学び合う。</p> <p>よさの観点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の内容が正しく伝わるように表現されている。 ・その内容に対する由美の気持ちが表現されている。 ・正しく分かりやすい英語で表現されている。 </div> <p>ジョスナの学校の写真(教科書)を見ながら、分かることや想像できることを発表する。</p> <p>【展開】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>バングラディッシュの学校</p> </div>				<p>ワークシ-</p>	<p>・代表の生徒作品について、一点は生徒の互選で決定する。もう一点はよさを焦点化できるものを教師が紹介・提示する。</p> <p>「誰が」「何を</p>

		<p>について、日本と違う点・同じ点を由美の記録から読み取ろう。</p> <p>新出単語の意味を確認し、読み取った内容についてワークの問いに答える。</p> <p>【終末】 読み取った内容に加えて、由美の記録に一、二文付加する。 由美の感想や、実際にジョナの学校で起き得ることを想像して書く。</p> <p>Example: <~, we went to Josna's school together. の後に> Many children came up to me, and talked to me in their language. I couldn't understand, but they were very friendly.</p>				<p>トに書かれている内容を確認し、学校の事情を正確に読み取っているかを見届ける。</p>	<p>した」をポイントにして読み取るために、動詞に着目するように助言をする。</p>
5 本 時	<p>自分の思いが正しく読み手に伝わるように、理由や具体例を加えたりして、由美の立場でジョナへの手紙を書くことができる。</p>	<p>【導入】 帯活動 (現在完了を用いた対話) 由美の手紙を読み、由美がジョナに一番伝えなかったことは何かを読み取り、交流する。</p> <p>【展開】 由美からの手紙を参考にして、ジョナへの手紙をワークに書く。 英文での手紙の書き方・形式を理解する。相手の名前、自分の名前の位置、書き出しや、結びの言葉の例。</p> <p>由美の立場になって、ジョナに思いが伝わるように手紙を書こう。</p> <p>【終末】 書いた英文をグループで読み合う活動を通して、仲間が書いた様々な表現を学び合う。</p> <p>Example: Dear Josna</p>				<p>手紙の形式で英文が書けているかどうかを、机間指導の中で確認する。 机間指導によりワークの記入を確認し、教科書やワーク等の既習表現を駆使したり、自分で考えた表現を用いたりしているかを見届ける。</p>	<p>手紙のフォーマットについて教科書p29を板書(拡大コピー)して確認する。</p> <p>正しく伝えるには、どのような表現を用いたらよいかを教科書の既習のページや前時までのワークの英文を参考にすることを助言する。</p> <p>Date: July 13</p>

		<p>I was glad to get your letter. I want to go to Bangladesh again. I enjoyed my stay in your country. Pumping water was too hard for me. I was really tired. But I knew you do that every day.</p> <p>Now I came back to Japan and I told my friends about your country. I have learned a lot from you. We want to do something. We're going to collect used post cards.</p> <p>Please say hello to your family.</p> <p style="text-align: right;">Your friend, Yumi</p>						
6	<p>紹介したい国へのツアーへの参加を呼びかけるために、その国の魅力やツアーでできる体験等について、内容や構成を工夫して読み手に分かりやすく書きまとめることができる。</p>	<p>【導入】 帯活動 (現在完了を用いた対話) スタディツアーとして行くならどの国に行ってみたいかを交流する。</p> <p>【展開】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> スタディツアーのパンフレットを作り、参加者を募ろう。 </div> <p>紹介したい国の紹介をしさらに自分の思いをワークシートに英語で書き表す。</p>					<p>ツアーへの参加を呼びかける文章が書けているか、さらにその根拠や具体例が書かれているかどうかを学習シートで確認する。</p>	<p>・第2学年社会科での学習内容を生かす。</p> <p>書きたい内容、自分の思いを整理することを助言する。他の生徒との交流の中で仲間の表現のよさや、考えのおもしろさ、深みを分かり合い、自分との相違点に着目することを助言する。</p>
<p>Example:</p> <p style="text-align: center;">Study Tour to Senegal</p> <p>Senegal is a small and new country in West Africa. It has long history, but it became a nation about 25 years ago. It was a part of France, so people speak French there. Of course, they speak their own language, too.</p> <p>Senegal is famous for peanuts and car rallies. I'm sure you'll like it.</p> <p>During the tour, you have a lot of time to communicate with children in Senegal. The children loves soccer and people are very friendly.</p> <p>I hope you visit it from December to May, because it is a rainy season from June to Novemeber.</p>								
<p>【終末】 自分が作ったスタディツアーのパンフレットを見ながら、仲間に紹介し、その内容・表現について交流・評価する。</p>								

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

自分の思いが正しく読み手に伝わるように、理由や具体例を加えるなどして由美の立場でジョスナへの手紙を書くことができる。

(2) 本時の位置

5 / 6時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
<p>導入</p> <p>展開</p>	<p>帯活動 (現在完了を用いた対話) 手紙についての教師の口頭説明を聞き、手紙の書き手や受取人を確認する。 新出語句の意味と発音を確認する。</p> <p>教科書の由美の手紙を読み、由美がジョスナに一番伝えたかったことは何かを読み取り、交流する。</p> <p>ハンガリーやスウェーデンについて自分の感じたことを表現する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Let's write to Josna. If you were Yumi, what do you want to write to Josna? 由美の立場になって、ジョスナに思いが伝わるように手紙を書こう。</p> </div> <p>前時までのワークシートを振り返り、由美が体験した事や感じた事の中から、ジョスナに伝えたいことを抜き出す。 書く「ポイント」(中間交流の観点)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・言いたいことがはっきりと書かれているか。 ・言いたいことの原因や具体例があるか。 ・英語の手紙の形式で、書かれているか。 ・文法や綴りは正しく、言いたいことが伝わる表現か。 </div> <p>中間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観点に沿って自己診断する。 ・他の生徒の書いたものを読んで 	<p>イ -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導によりワークシートの記入を確認し、教科書やワークシート等の既習表現を駆使したり、自分で考えた表現を用いたりしているかを見届ける。 <p>エ -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形式が守られているかどうかを机間指導や中間交流会の場で、さらに授業後回収したワークシートで確認する。 <p>< 教師が朱筆を入れる観</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・由美のスピーチについて(前時までの内容)生徒に発言を引き出し、読み取りに生かせるようにする。 ・読み取ったことを交流する中で、由美が書き切れなかったことを生徒に考えさせ、本時の課題につなぐ。 ・時間が経過しても、英文が書けない生徒に対しては以下のように指導する。 書く内容が決まらない生徒。 まず、ジョスナに「手紙ありがとう。」と言おう。驚いたり、楽しかったりしたことをあげてみよう。 書く内容に合う英語がわからない生徒。 前時までのワークシートを参考にしたり、教科書の P30('YourTurn' A 及び B)の英文を参考にしたりするように助言する。 ・書くときのポイントを英文で具体的に示すとともに中間交流の交流観点の意識付けを図る。 ・仲間との交流の中では、自分の英文との相違に

終 末	理解し、そのよさを取り入れる。 ・教師からの助言を聞く。 交流を生かして書き直す。	点 > ・主張と理由の記述 ・表現の正確さ	着目することで理解しやすくなることを助言する。
	<p>Example: (下線部は交流した後に付加した英文)</p> <p style="text-align: right;">Date: July 13</p> <p>Dear Josna</p> <p>I was glad to get your letter. <u>I want to go to Bangladesh again.</u> I enjoyed my stay in your country. Pumping water was too hard for me. I was really tired. <u>But I knew you do that every day.</u></p> <p>Now I came back to Japan and I told my friends about your country. <u>I have learned a lot from you.</u> We want to do something. <u>We're going to collect used post cards.</u></p> <p>Please say hello to your family.</p> <p style="text-align: right;">Your friend, Yumi</p>		
	感想・振り返り ・仲間の表現から学んだこと(印象に残った内容や有効な英語表現)を学習プリントに書き込む。		・ワークシートを集め、次時まで一人一人のよさ(表現内容と英語表現)を中心に朱筆を入れる。

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<イ - >

相手に伝えたいことを整理し、伝えたいことの原因や具体例を付けて書くことができる。

(2) 評価の実際

評価の方法

<ワークシートの点検>

- ・書く活動に入った段階から、自分が言いたいことを一文、さらにその文に対応する理由や具体例を書いているかどうかを机間指導の中で見届ける。
- ・授業後、学習シートを集めて、自分の思いと根拠または具体例が読み手に伝わるような適切な表現かどうかを点検し、補助簿に記録する。

評価の決定

- ・ワークシートで、一番伝えたい英文を正確に書き、その理由または具体例として、プラス一文が次に述べられている場合は、「おおむね満足できる」状況を実現していると判断する。
- ・「おおむね満足できる」状況を実現していると判断する文例：
 下線_____は思いや気持ち、下線_____は根拠や具体例を指す。

<第5時>

Ex1: I want to go to Bangladesh again. I enjoyed my stay in your country.

Ex2: I have learned a lot from you. You have many things to do, but you really enjoy your life.

Ex3: We want to do something. We're going to collect used post cards.

Ex4: We want to do something. We hope to exchange video letters with your school.

Ex5: My firends also want to visit your country. They say they will feel warm hearts of many people in Bangladesh.

Ex6: I'm glad to meet you and you friends. They gave me warm words and nice smiles.

(3) 個に応じた指導の実際

・「おおむね満足できる」状況を実現していると判断されない生徒の様相を、次の(ア)~(エ)のタイプからとらえ、それぞれの学習状況に応じて以下のように具体的に指導・援助を行った。

(ア) 由美の手紙に書かれている内容のどの部分を参考にしたらよいのかがわからない。

手だて・・・ もう一度由美の手紙を読み返し、一文一文に対して、それを使えるかどうかを考えさせ、次に英語で言ったらどうかを助言する。

教科書の本文 Dear Josna, I was glad to meet you and your friends. Thank you very much for a wonderful time.	【助言】この文の意味は？ 生徒 A 「あえてうれしかった・・・」 【助言】 出だしの文はそのまま真似して書いてみよう。
---	--

こういった言葉を助言するだけで、A 子は、出だしの表現を次のように書いた。

Thank you for your letter. I was glad to meet you, too.

はじめから自分のオリジナルで書き出そうとするとその内容に難しさを感じる。しかし、一つ一つ対応して考えさせることで、比較的容易に書くことができるということを助言することが大切である。

(イ) 由美の立場に立って考えた時にその内容が思い浮かばない。

手だて・・・ バングラディッシュにおける国の様子や学校の事情をもう一度振り返り、その状況の中で由美が体験してきたことをワークシートや教科書から振り返らせる。

【助言】由美は、バングラデシュの体験のことをどう思っているだろうか？興味があるのかないのか、もう二度と行きたくないか。そのあたりから、書き出してみようか。 生徒 B 「バングラデシュでは、えらかったけどもう一度行ってみたいと思っていると思う。」 【助言】じゃあ、それを、一つずつ表現してみようか。「～したい」という英語の表現は、覚えてるかな？

この後、B 子は次のような文を書いた。

The study tour was hard, but I want to go to Bangladesh again.

(ウ) 英語で正しく表現する事ができない。

手だて・・・ 書きたいことはどんなことなのかを確認し、どんな構文で書けそうなのかを助言し、既習の表現を教科書で示す。既習の表現を忘れしまっている生徒には、もう一度説明を行う。

生徒 C 書きたいのは、「手紙を読んでうれしかった。バングラデシュにまた行きたい。」
--

「ジョスナの学校の友達にも会いたい。」という感じのこと。

：手紙を読んでうれしかった。

【助言】教科書に「会えてうれしかった。」とあるから、

I was glad to meet you. を少し換えてみよう。

「読む」は？

「手紙」は？と、英語の語順で日本語から英語に変換していく。そうすることによって、C男はその英語を理解し学習シートに次のように書いた。

Thank you for your letter. I was glad to read it.

前に letter を使っているのだから、it 代名詞を用いて書いてあった。助言の時には、聞いた一文だったために、letter だったのだが、それが校正されていた。

：日本にすぐに行きたい。

【助言】教科書に「彼らは何かしたい。」とあるね。want to で「したい」だよ。行きたいのは「私」で I, 「行く」は go, だから、文は、I want to go to Bangladesh again. となるね。

：ジョスナの学校の友達にも会いたい。

【助言】これも、上の文と同じ構文で書くことができるよ。「会う」は、meet でしょ？だからどうなる？

C男の作った文 I want to meet Josna's friends.

【助言】Josna は手紙の相手だから、Josna's って言わなくてもいいね。

C男「your でいいんや。」 I want to meet your friends, too.

(エ) 由美の立場に立って考えた思いや気持ちまでは表現できるが、詳しく説明する根拠や具体例が思い浮かばない。

手だて・・・ バングラデシュで由美が体験してきたことやジョスナの生活や性格、表情、バングラデシュの人々の人柄や生活ぶりを思い起こさせることにより、表現内容を豊かにもたせる。

生徒Dが書いた英文： I really want to go to Bangladesh again.

【助言】由美がもう一度バングラデシュへ行きたいのはなぜだろう。バングラデシュへ行って何をしたいのかな。

生徒D「バングラデシュの人々の温かさに心打たれたから。行ってバングラデシュの人々と不便だけど、充実感のある生活をしたいと思っている。」

【助言】じゃあ、教科書やワークシートでその部分の英語表現をさがしたり、自分で英語を考えて表現してみよう。

その後、D子は次のような文を書いた。

I really want to go to Bangladesh again. I remember they were very friendly. The life in Josna's village is hard, but I will have a wonderful time.

単元を通した継続的な手だて

< 自己表現の内容や構成を充実させる指導・援助 >

- ・教科書英文の内容について理解が深まり、自己表現に生かせるように、概要や要点を焦点化して読み取ることができるようにワークシートを工夫する。

例：日本語による読み取りの観点の提示

「農村でのお手伝いは、由美にとって簡単なものでしたか。」

- ・初めに自分の行動や立場、思いを明確に述べること（何をするか、気に入っているのかそうでないのか、したいのかしたくないのか、どんな思いなのか、等）を求め、その後で根拠や例を具体的に述べることを求めるような働きかけや問いかけを単元を通して行う。

下線____は行動や立場，思い，下線~~~~は根拠や具体例を指す。

< 第 2 時 >

S: I didn't know about street children.

T: So what do you want to do?

S: I really want to see them and do something for them.

T: Why do you think so?

S: They should go to school and have a happy life.

< 第 3 時 >

S: Josna milks the cow every morning.

T: What do you think about it?

S: I think it is very hard.

T: Why do you think so?

S: They bring milk only with their hands.

< 第 4 時 >

S: Many children came up to me, and talked to me in their language.

T: What did you feel at that time?

S: I couldn't understand, but I had a good time.

T: Why do you think so?

S: They were very friendly.

< 第 6 時 >

S: Senegal is a small and new country in West Africa.

T: What do you mean by the word, 'new'?

S: It has long history, but it became a nation about 25 years ago. It was a part of France, so people speak French there. Of course, they speak their own language, too.

- ・書きたい内容を文ではなく，単語や語句レベルで英語または日本語で書き，書きたいことの内容を整理したり，順序などの構成を考える。

< 英語表現を充実させる指導・援助 >

- ・自己表現に有効な英語表現をワークシートに多く記載するとともに，例文や作品例を示し生徒の英語表現のモデル・目標とする。あわせて，既習の表現をそのまま用いたり一部を言い換えて用いたりすれば，書きたい内容が伝わる英文を書くことができることを実感させていく。

例：ワークシート

I really want to see them and do something for them. (自分の思い)

I looked at many pictures of the children in Bangladesh.

(実際に前の時間に調べて見たこと，わかったこと。)

Their smiles are very nice. (どう感じたか?)

I want to see them (何をしたいか。)

I am looking forward to seeing them. (さらに気持ちを最後に付けたす。)

- ・教科書の英文を，書きたい内容に生かしたり関連付けたりできるように，TFやQAを多く用いる。
- ・書きたいことをそのまま英語にするのではなく，内容を損なわないように日本語での言い換えをすると英語で表現しやすいことを指導する。